

第1回「重質油等高度対応処理技術開発」

研究開発プロジェクト 終了時評価検討会

議 事 要 旨

1. 日 時 平成29年1月25日（水） 13:00～14:40

2. 場 所 経済産業省別館 11階 1111 各省庁共用会議室

3. 出席者

（検討会委員）[敬称略・五十音順、※は座長]

小野崎 正樹	（一財）エネルギー総合工学研究所 理事
小林 康	東洋エンジニアリング株式会社エンジニアリング本部 プロセスシステムエンジニアリング部 担当部長
里川 重夫	学校法人成蹊学園成蹊大学理工学部物質生命理工学科 教授
関根 泰	学校法人早稲田大学先進理工学部応用化学科 教授
辻 裕一	学校法人東京電機大学工学部機械工学科 教授

（研究開発実施者）

上小澤 哲人	（一財）石油エネルギー技術センター技術企画部 部長
豊岡 義行	（一財）石油エネルギー技術センター技術企画部 ペトロリオミクス事業統括リーダー
大橋 洋	（一財）石油エネルギー技術センター技術企画部 主任研究員
高井 康之	（一財）石油エネルギー技術センター自動車・新燃料 部 主任研究員

（事務局）

資源エネルギー庁資源・燃料部石油精製備蓄課	
課長補佐	丸山 翔
係長	堀江 武弘

(評価推進課)

産業技術環境局技術評価室

課長補佐 村田 博顕

4. 配布資料

資料1 「重質油等高度対応処理技術開発」研究開発プロジェクト終了時
評価検討会 委員名簿

資料2 研究開発評価に係る委員会等の公開について

資料3 経済産業省における研究開発評価について

資料4 評価方法 (案)

資料5 「重質油等高度対応処理技術開発」研究開発プロジェクトの概要
(補足説明資料)

資料6 「重質油等高度対応処理技術開発」技術評価結果報告書の構成 (案)

資料7 評価コメント票

質問票

参考資料1 経済産業省技術評価指針

参考資料2 経済産業省技術評価 指針に基づく標準的評価項目・評価基準

参考資料3 25年度中間評価報告書 (概要版)

5. 議事概要

(1) 座長選出

委員の互選によって、小野崎委員が本検討会の座長に選出された。

(2) 評価検討会の公開について

事務局から、資料2により、評価検討会の公開について説明がなされた後、本評価検討会について、会議、配付資料、議事録及び議事要旨を公開とすることが了承された。

(3) 評価の方法等について

事務局から、資料3、4、6、7により、評価の方法等について説明がなされ、了承された。

(4) 研究開発プロジェクトの概要について

事務局及び実施者から、資料5により、重質油等高度対応処理技術開発プロジェクトの概要について説明がなされた。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・委員より、実証技術開発テーマから基盤技術開発テーマへの成果のフィードバックの有無について質問があり、研究開発実施者からは、

実証を通じて明らかになった触媒劣化に関する課題を基盤技術の反応モデリング技術にフィードバックしたとの回答があった。

- ・委員より、開発した新化学式（J A C D）の触媒反応分析への応用方法について質問があり、研究開発実施者からは、開発した分子反応モデリング技術との組み合わせ手法を継続的に研究していくとの回答があった。
- ・委員から、石油の詳細な構造解析データは非常に貴重なものなので、今後も有効利用できるようしっかり管理を行っていくことが重要であるとのコメントがあった。

（５）今後の予定について

評価コメント票の提出期限を平成２９年２月６日とすることを確認した。
また、第２回評価検討会を平成２９年２月上旬に開催することとした。

以上